

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表（令和5年度）

法人名	特定非営利活動法人 しみん ふくしの家八日市	代表者	楠神 涉	法人・ 事業所 の特徴	ご利用者様やそのご家族が住み慣れた我が家や地域でその人らしく暮らし続けられるよう、小規模多機能のサービスの特性を活用していただきながら、ご自宅・施設・地域での居場所づくりや環境づくりを支援します。事業所では、家庭的な雰囲気の中で、ゆったりとくつろいでいただき、スタッフはご利用者様の思いを受け止め、その方に合った支援を行います。
事業所名	しみんふくしの家八日市 小規模多機能型居宅介護事業所	管理者	阿部 愛		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	人	1人	人	3人	2人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価、外部評価をわかりやすく説明し取り組み組んでいく。 職場環境の改善に努め、人員確保しサービス向上を目指す。	途中管理者の変更などで引継ぎなどがうまくできておらず、自己評価や外部評価の説明などの改善に対し、至らない点があった。職場環境の改善は進んではいるが、さらに継続が必要である。	毎年思うが、外部評価の様式が分かりにくい。 職員不足改善の為、人員確保の活動を続けてほしい。	前回に引き続き自己評価の理解や外部評価の様式をわかりやすい状態に整える。 現場の環境を整え、利用者・職員共に過ごしやすい状態を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	衛生的な環境づくりをしながら、職場内での感染を広めない。	感染対策など事業所ないで行える対策はマンパワーで行ってはいたが、感染症の流行時期に応じてクラスターの発生を阻止することが出来なかった。	利用者や職員でも事業所内の出入りが日々あると、100%感染を防止する事は極めて困難。	感染症対策を継続し、ご利用者・その家族・職員それぞれが予防できる対策にマンパワーで努める。また、呼びかける。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所の地域やご利用者の地域の方へ積極的に挨拶をする。 地域のイベントや行事に参加する。	地区の文化祭や子供会のハロウィン行事などに参加することができた。 また、町内の子供会と合同で避難訓練を実施出来るよう話し合いを進めている。	引き続き地域行事に参加できるよう努めたい。 自粛していた夏祭りなども再開してはどうか。	地域行事には積極的に参加し、町内や地域の方々との交流を図る。町内との交流も深めて行けるよう努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域の方の困りごとの相談窓口になれるよう努める。	子供会を通して、子供たちが学校後に気軽に立ち寄れる事業所として認識いただけるよう声掛けを行った。	もっと事業所のことを知ってもらうような宣伝活動をしてはどうか。	地域のイベントや集会などを通して、事業所を知っていただく機会や工夫を実践していく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	地域のイベントに参加し、交流を図っていく。	地域の文化祭やハロウィン行事に参加をすることが出来た。	事業所運営での問題点に関して、運営推進委員の方々からさまざまな意見をいただき、参考になる。	運営推進会議を通していただける意見を事業所及び法人の発展向上に活かして行く。
F. 事業所の防災・災害対策	防災計画の見直しを行い、地域との協力・交流を図る。	町内の子供会と合同で避難訓練を実施できるよう計画を進めている。 BCPの作成を行い、毎年4月に見直しを行うよう取り決める。	BPCについてよくわかっていない。また、事業所の防災計画についてあまり理解していない。	事業所の防災や災害対策について理解を深めていただけるよう努める。また、子供会との避難訓練が実施出来るよう話し合いを進める。